



今年も大好評！ 農業ふれあい研修「出前授業」

研修部では、小学生に農業に対する関心を高めてもらうため、本校職員が直接小学校に出向き、野菜の栽培・収穫体験を指導する、『農業ふれあい研修「出前授業」』を、平成29年度から毎年度実施しています。

本年2月から4月にかけて参加小学校を募集したところ、岡崎市内の8校（城南小学校、六ツ美南部小学校、六ツ美中部小学校、小豆坂小学校、藤川小学校、矢作北小学校、緑丘小学校、山中小学校）から応募があり、調整の結果、5月7日（火）から5月17日（金）にかけて順次「出前授業」を実施しました。

この時期は、夏野菜の植え付け適期で、児童から育てたいと希望があった、ミニトマト、キュウリ、ナス、オクラ、エダマメの苗を、アサガオ用の鉢や小学校内の畑に定植しました。なお、出前授業に先立ち、本校職員が事前に各校を訪問し担当教員と打ち合わせの機会を持ったことで、円滑に当日の進行ができました。

「出前授業」の冒頭に、野菜の特徴等を描いたタペストリー等の小物を使って、「ミニトマトは、わき芽がたくさん出るので、しっかりわき芽を取ろうね」、「キュウリは



【本校学生の説明を真剣に聞く児童たち】

どの野菜よりも早く大きくなるから、余分な葉とわき芽をしっかりと取り、実をあまり大きくせず、早めに収穫しようね」等、野菜ごとによって異なる特性と定植後の管理方法を児童に説明しました。せっかくだから上手に栽培し、たくさん実を収穫してほしいという思いから、本校職員の説明にもつつい力が入ってしまいました。

なお、小豆坂小学校では、本校露地野菜専攻の学生2名も講師に加わり、児童の指導係を務めました。学生は日頃の実習の経験を踏まえて、児童に分かりやすく丁寧に野菜づくりを指導し、児童たちは、目を輝かせながら「頼れるお兄さん達」の説明を、真剣に聴いていました。



【野菜苗を畑に植える児童たち】

本校職員が植えた手本を見ながら、児童は上手に各々の野菜苗を植え、支柱を設置し、肥料までやることができました。

後日、小学校から、「たいへんだったけど、じょうずにできました」、「がんばってそだてます！」等、児童のかわいいコメントが一杯の礼状を頂戴しました。

自分たちの野菜を大切に育てようとする児童の真剣な姿が感じられ、今後の農業への興味・関心の高まりが期待できる「出前授業」となりました。

（就農支援科 河野真砂子）

農業者生涯教育研修

6次産業化を支援するITベンチャー企業代表者を講師に招いた経営管理研修

第1回経営管理研修を、4月23日（火）に愛知県青年の家で開催しました。

本研修は、愛知県農業経営士協会並びに愛知県青年農業士連絡協議会との共催により開催し、県内各地域から89名の農業経営者等が参加しました。

講師にお招きした株式会社 MISO SOUP 代表取締役の北川智弘氏から、「これだけは押さえておきたい！農産物のブランド化の考え方」と題した講演が行われ、6次産業化の取り組みを続けるために押さえておきたいポイントについて、実体験に基づいたお話をいただきました。

地域に元気をもたらす6次産業化の取組を継続・安定させるには、「社会のニーズをとらえる、満たす」ことが大切で、そのカギは「商品をつくる」、「売る」及び「仕組みをまわす」事業P D C Aサイクルの構築にあると、北川講師は強調されました。

また、①6次産業化の現状とトレンド、②マーケティングの必要性、③地域ブランドの作り方の重要性について、舌の温度で肉の脂肪がとろける「32℃豚」のブランドづくりの支援を例に挙げ説明されました。特に、商品のコンセプトの作り込みでは、「人の魅力」、「こだわり・想い」及び「地域性」が大切であること、流通や顧客管理等の不得手な部門を外注して、農業者は得意な生産に注力できるよう支援した事例をわかりやすく解説いただきました。

また、クラウドファンディングでは、資金集めの他、メディアへの露出効果も期待できるという話をいただきました。

参加者からは、「マーケティングの重要性をわかりやすく聞くことができた」、「自分の産物を地域ブランディングする際のヒントになると思う」等の意見が出され、意義ある研修となりました。

（副校長 堤 公生）

新規就農者向け3研修が始まりました

新規就農希望者を対象として、4月18日（木）に開講した「ニューファーマーズ研修」に続き、「雇用創出農業研修」と「農業者育成支援研修」が相次いで開講しました。

離職者の公共職業訓練に位置づけられている「雇用創出農業研修」は、5月8日（水）に受講生29名で開講しました。翌年2月上旬までの9か月間、平日は毎日、本校で実習や講義等が行われます。



〔令和元年度雇用創出農業研修生と関係職員〕

異分野からの新規就農希望者を対象にした「農業者育成支援研修」は、5月13日（月）に受講生7名で開講し、翌年1月20日（月）までの9か月間、原則週3日、本校で露地野菜の実習と講義を行います。

なお、本研修は6月14日（金）まで、研修生を追加募集しますので、身近に就農意欲があり、農業の基礎を学びたい方がみえましたら、研修部まで御紹介ください。

これで本校が実施する新規就農希望者向けの3研修が出揃い、希望に満ちた受講生との多忙でにぎやかな1年が始まりました。
（就農支援科 石本 聖絵）



〔令和元年度農業者育成支援研修生と関係職員〕

校外学習

「先進花き経営視察で オンリーワンの商品作りを学ぶ」

鉢物・緑花木専攻の2年生（11名）と1年生（8名）が、5月15日（水）に校外学習として、豊橋市の「松浦園芸」と「明和園」を視察しました。

「松浦園芸」は、国内最大級のコチョウラン生産法人で、従事者は42名、出荷量は年間20万株です。代表者の松浦秀昭氏から、コチョウランの生産体系や販売戦略について話していただきました。

大量生産と高品質の両立のため、作業性を考えたほ場設計や作業のマニュアル化、コチョウラン専用のプログラムによる複合環境制御等を行っています。また独自性にこだわった商品開発を推進しており、オランダの染色技術の特許使用権を日本で唯一取得し、青色、紫色、黄色等に染めた色鮮やかな花を出荷していました。



[上：松浦園芸のコチョウラン 下：専攻の学生たち]

続いて訪問した「明和園」では、家族経営で少量超多品目の観葉植物を生産しており、品種数は約850品種に上ります。

経営主の山本勲氏から、「『ここにしかない珍しい品種』を取り揃え、こだわりのある客のニーズに応える」という経営方針を話していただきました。また、栽培管理方法では、植物の特性を知るため、海外の原産地まで足を運び、生育環境を確認して栽培方法を判断したり、かん水は、植物の種類に応じて全て手かん水で行い、鉢用土は

全ての品目で、排水性を重視した同じ用土を使用していることを伺いました。

学生は、普段なかなか会う機会の無い先進農業経営者に接して、真剣に話を聴き、栽培管理方法等について積極的に質問をしていました。視察先はタイプは異なりますが、両者とも他には無い特徴ある商品を作ることで市場ブランドを確立しています。そうした経営戦略に学生は大変刺激を受けたようで、提出されたレポートでは多くの戦略に関する記述が見られました。本専攻でも今回学習した内容を生かして、付加価値の高い商品開発に努めていきたいと思えます。（農学科 坂場 功）

農学科後援会総会を開催

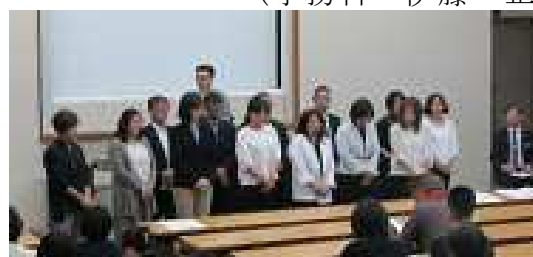
学生の保護者で組織されている教育部農学科後援会は、学生に対する福利厚生事業や学校生活の支援事業の実施に加え、農大職員や会員相互との情報交換等を目的とした地域別研修会の開催とともに、12月の農大祭ではバザーも実施し、売り上げを農大祭実行委員会に寄付しています。

5月23日（木）には、令和元年度の後援会通常総会が農大で開催され、多くの会員（保護者）に御参加いただきました。

総会では、平成30年度事業報告・決算報告、令和元年度事業計画・予算が慎重審議の上可決承認されるとともに、新年度役員が選任されました。

続いて午後からは、大学校生活についての教育部長の講話の後、希望者には、専攻の職員との面談会で、学生の成績や学校生活、進路についての相談会を行うとともに、校内農場等の見学会を行いました。

（学務科 伊藤 正美）



[本年度役員の方々の自己紹介]

農大からのお知らせ

◇オープンキャンパス（農大発見の日）◇

- ・開催日時
第1回 6月8日（土）
第2回 6月15日（土）
各回とも午前10時から正午まで
- ・対象：農業大学校入学に関心のある方及びその家族又は学校の先生
- ・場所：農業大学校
岡崎市美合町字並松1-2
- ・事前申し込みは不要です。
- ・歩きやすい服装と靴、帽子や水分補給のため飲み物をご持参ください。
- ・問合せ先：学務科(伊藤)0564-51-1602

◇オープンキャンパス(サマーキャンパス)◇

- ・開催日時
第1回 7月31日（水）
第2回 8月7日（水）
第3回 8月28日（水）
- ・対象：農業大学校に興味のある高校生及び御家族並びに県民の皆様
各回とも午後1時30分から午後3時まで
- ・場所：農業大学校
岡崎市美合町字並松1-2
- ・事前申し込みは不要です。
- ・歩きやすい服装と靴、帽子や水分補給のため飲み物をご持参ください。
- ・問合せ先：学務科(伊藤)0564-51-1602

◇緑の学園（1日農業体験学習）◇

- ・開催日時
第1回 7月23日（火）
第2回 7月25日（木）
第3回 8月20日（火）
第4回 8月22日（木）
第5回 12月24日（火）
いずれも午前10時から午後4時30分まで
(雨天実施)

- ・対象：主に高校生（農業を学びたい高校卒業生を含む）
- ・定員：各回30名
- ・場所：農業大学校
岡崎市美合町字並松1-2
- ・事前に受講申し込みが必要です。
第1回、第2回は7月1日（月）まで
第3回、第4回は7月20日（土）まで
第5回は12月1日（日）まで
- ・詳細は本校ウェブサイトをご覧ください。
- ・問合せ先：就農支援科(野村)
0564-51-1034

◇生産物実習販売ごよみ◇

令和元年6月の生産物実習販売についてお知らせします。

- ・販売日：6月5日、12日、19日、26日
(祝日を除く毎週水曜日です。)
- ・時 間：午後3時から
- ・場 所：農業大学校体育館
- ※なお、袋入り堆肥の販売は、豚コレラ防疫対策の実施状況に合わせて再開します（現時点では、7月からの販売再開を予定しています）。
- ・問合せ先：農学科(山本) 0564-51-1673

校内で豚コレラ防疫対策実施中

農大では、豚コレラ防疫対策を以下のとおり実施中です。来校される皆様の御理解と御協力をお願いします。

- 畜舎のある衛生管理区域への関係者以外の立入禁止
- 農大内の主要な通行ポイントに消毒用の消石灰を散布
- 主要な教育施設の各出入口付近全てに踏込消毒槽を設置(靴の消毒)
- 関係車両等の消毒の徹底
(車両消毒槽、動力噴霧器)
- その他、諸防疫対策を実施